

柏市文化財保存活用計画 文化庁協議概要

資料 4

令和4年3月4日

事項	指摘	対応
別添リスト	本計画で文化財としている、把握しているものはできるだけ全て挙げる。書式が揃っていないでもよく既往の報告書のコピーでも可。データ提出。	既往リスト資料のスキニングをし提出する。 既にデータ化している資料を掲載用に編集する。 特徴や関連文化財群から不足のリストがないか随時確認する。
本文リスト	本文巻末には市でルールを決めて掲載する。住宅ならN家、美術工芸品は盗難防止のため寺名を記載しない等配慮が必要。文化庁へのデータ提出物は公開しないので個人情報を含んでいても良い。	別添リストから、対応を確認する。（主に個人住宅、個人所有の美術品、社寺等所有の美術品）
その他	法定協議会、保護審議会の議事録を提出すること	提出する。
序章	市としての将来像を明確にする。共有できる将来像がないと報告がバラバラになる。	総合計画p. 24の目指す将来像「未来へつづく先進住環境都市・柏～笑顔と元気が輪となり広がる交流拠点～」地域資源が活かされ、人が住まい、集うまちとなること、及び県大綱に添わせて将来像・基本理念を設定する。
課題	庁内、関係者ヒアリング、市の方針、県の意向から将来像・基本理念を設定することが大事。それを叶えるための課題を見出す。見せ方が大事。うまくすれば総合計画と結びつけられる。	
序章	目的は明快だが、これまでの経緯は書き切れていないことがありそうである。話したような背景をもう少し記載すると説得力がある。	経緯をより詳しく適切に加筆する。またその目的を補強する情報を序章、1章に追加する
序章	背景、目的は柏市独自の問題とどう解決していくということを書くべき。主軸は文化財を把握し、持続するための事項（優先順位も意識しつつ）かと思う。農村コミュニティの再考の話（他部署とも関係しやすい）も。そのために何をするか、保存、活用等の間にある将来像につなげるための方向性を考えて組み立てると	指摘にならない更新する
序章	関連計画に記載の中で今後やっていきたい事があるなら、民間活動などとともに関係に落とすと連携がわかりやすいのではないか	主要な民間活動などを図化する
序章	計画期間は総合計画と合わせるとやりやすそうだが市のルールに則ること。戦略的に決めるとよいのではないか。見直しや評価の方法も記載すること。変更の認定（指針p. 11）を確認し記載すること。	時期総合計画の前期と後期の間とあわせるため8年とする。
序章	推進体制は保護審議会についても記載する	保護審議会メンバー、会の実施日を確認する。
序章	関係事業、総合計画のみが上位計画ではないか。部署の並び順は関連性を考えて並べること。部門分けすると計画ともつながりやすい。	関連性を考えて並べ直す
序章	体制の図、県の大綱は関連計画。作成者が異なるので別にする。各文化財の保存活用計画が地域計画の下に来る。横並びの計画もある。全体的に見直すこと	全体的に確認し更新する
序章	樹形図のように整理してから、本文に入ると後戻りがない。	将来像→考え方（具体的な目的事項）→課題→方針→措置を整理す
序章（全体）	「作成」とする。策定ではない。	作成に修正する
序章（全体）	かしわ資産（本計画で指す文化財）の対象を、単体と、歴史事項をさしている箇所があり、定義の整理が必要	定義を整理する
	⇒かしわ資産 は使わない	
序章（全体）	措置もあるので（マスタープラン兼）アクションプランとすること。	（マスタープラン兼）アクションプランとする
シンポジウム	高齢の団体と若い団体があるとのこと、両方で話す機会があると良い。	シンポジウムで交流の機会を設ける
その他	オブザーバーで参加した西村幸夫氏の意見の報告を提出すること	報告を提出する
全体	ページ番号ふること	ページ番号をふる
全体	フリガナふること	フリガナをふる
第1章	下野北総回廊など地形関係を加筆する	地形を加筆する
第1章	川や山の名前を図で確認できるようにすること。自然は地図に落とすこと。	山、川等自然の位置、名勝を地図に落とす
第1章	序章で観光と書いてあったので、観光資源や観光客数を入れること	観光について記載する
	⇒観光基本計画、HPで最新情報も確認	
	文化会館、パレット柏、道の駅、フィッシングセンター	
第1章	土地利用は図を入れるとわかりやすい	土地利用図→ない。市街化区域、区域外を示す
第1章	交通は公共交通に触れること	公共交通（バス、乗り合いタクシー）について加筆する

第1章	歴史は必要に応じて、トピック出しをするとよい。将門のストーリーや地名など、本文に直結しないことはコラムで分類してもよい	トピック出しするとわかりやすい事項を選択、追加する
第1章	合併の歴史は今後地名など話が出るのなら、より詳細に示すこと。自然の項に地区名が出てくるのでその前に説明が欲しい	地区名、位置がわかるよう図化し、合併の歴史項に掲載する。
第1章	谷津の説明が欲しい。	谷津の説明を加筆する
第1章	人口動態は柏の葉など都市化しているところも書く	人口項に都市化している地区についても加筆する
第1章	⇒柏のは、人工ビジョンR3、3月を確認	
第1章	農業は関係する事項はもう少し記載する	農業項に加筆する。近年の動向も加える
	⇒手賀沼アグリ	
第1章	地形項、通史、歴史文化の特徴をどう書き分けるか。似たような話を繰り返さないようする。歴史文化の特徴をどれくらい書くか決めた方がよい。歴史は歴史文化の特徴にあてはまるようにすること。	歴史文化の特徴の記し方の方針を決め、地形項、通史、歴史文化の特徴で繰返しの説明がないか調整する。歴史文化の特徴に登場する名称(項目)は、地形項、通史で説明しており、適合するものであること。
第2章	ヒアリングは文化財に関心ある人の話の結果なので、関心ない方、分野外のことをどうしていくか。これをヒントに課題を抽出することになる。広い視野をもつこと。	関心のあるなし、分野に偏りがいいか配慮し、課題を抽出する
第2章 第3章	キーワードは歴史的、そのほかに地形的などあり、それをまとめていけると特徴がまとまる。キーワードは通史に入れても歴史文化の特徴でもよい。4節のキーワードが特徴にどう導かれているかわかりづらい。キーワードを(7つの特徴に)分類した図を入れる等してわかりやすくする。串の通し方。なので3章の初めに入れると良いのではないか。	時代毎の特徴：2章各時代毎 地域の特徴：1章に図 →上記及びその他登場する特徴を、キーワード→特徴への事例のような概念図でまとめる。
第2章	把握調査、文化財の種類、時代区分が入っている。現状は種類と把握2点が入っていることを意識して書くこと。時代区分がどこに入るかを考えること。構成案(毛利氏から後ほど送)を参考に	指摘にならない更新する
第2章	未指定についても書くこと。	未指定文化財について記載する
第2章	史跡は建造物と同様の並びでは遺跡、名勝は名勝地、天然記念物は動物・植物・地質鉱物とする。わかりづらい場合は(天然記念物)など書いてもよい。	史跡→遺跡、名勝→名勝地、天然記念物→動物・植物・地質鉱物に修正
第2章	継続、新規、把握調査のところはより具体的に記すこと。	継続、新規、把握調査に加筆する
第2章	3節、4節の位置づけは。市町村によっては第1章に入れる。3章でもあり得る。	位置を調整する
第3章	関連文化財群の構成要素は第1, 2章、歴史文化の特徴で出ていること。	構成要素と歴史文化の特徴との整合性を確認する
第3章	関連文化財群は全てに地図と課題・方針をつけること。	地図、課題・方針を掲載する
第3章	タイトルに固有名詞を入れ柏市とわかると良い	関連文化財群の見直しとタイトルの付け方を再考する
第3章	どう生かすかまでよく考えること。戦略的につくる。	目的に向かって一貫した流れを持つ計画とし、計画後も見据えた内容とする。現状を見極め、実現性を考慮し、既往の庁内等の事業との連携を考える
第3章	区域設定の方がふさわしいこともあるので判断すること。農業など(沼南エリア等)。区域とするとその場の関係者とも調整することになる。活動している人との整合性も考えておくとう有効になる。区域は景観の区域等も考慮する。	関連文化財群で地域に限られるものは区域設定とする。それぞれの項目に、既往の計画(景観計画、都市計画MP)や関係する活動も反映する。
第3章	今ある団体を軸に区域を設定するのも団体を応援するという意味では良い。	
第3章	構成要素は文化財リストに載せること。野菜なども。	構成要素の、リストと通史等項の記載を確認する。
第3章	必ずしも新しい事業をするべきというわけではなく、地域の課題を理解し解決へ導くため必要かどうか。ヒアリングで得られたことを反映すると良いのではないか。活動するにはどの方法が良いか等。	課題解決のための現実的な方法を、ヒアリングを参考にし反映する。ヒアリング結果をわかりやすく示す。
課題	多くの団体が既に活動しているとのこと、団体の名称を計画内で記載しサポートする旨を記載すると良い。	事業に関わる団体を記載する。
課題	基本理念に向かう上での方針を明確にする。様々な方を巻き込めるとよいので言い方に注意する。例えば調査→地域の魅力を発見する。という巻き込みやすい。	様々な人が興味を持つよう、記述方法を考慮する。
第6章	計画後どう運営するかは後半の運営の体制に記載する。民間団体を加える。	計画後の運営の体制を設定する。実働している民間団体を加える
第6章	補助金は実行委員会形式である。普及啓発か人材育成がある。地域計画あることで優先採択もある。枠組が変わる。地域計画の協議会を実行委員会とつなげるところもある。作成段階から運営も考えていけると良	